

第2章 神奈川県 の保健医療の現状

第1節 人口

1 少子化、高齢化と人口減少

我が国は、これまでの人口が増加する社会から、人口が減少する社会へと転換期を迎えています。こうした中であっても、本県の人口は平成18年5月に全国で第2位となり、平成21年7月には900万人を突破するなど、依然として増加が続いています。

しかし、合計特殊出生率は現状の人口を維持できる水準を下回っており、高齢化は全国を上回るスピードで急速に進行することが見込まれています。

(1) 少子化の進行

合計特殊出生率は、全国的に低い水準にありますが、平成18年以降、上昇傾向にあります。神奈川でも、第二次ベビーブームの昭和48年の2.30をピークに低下傾向で、平成17年に1.19と最低値を記録しましたが、その後は全国と同様にわずかに上昇傾向にあります。

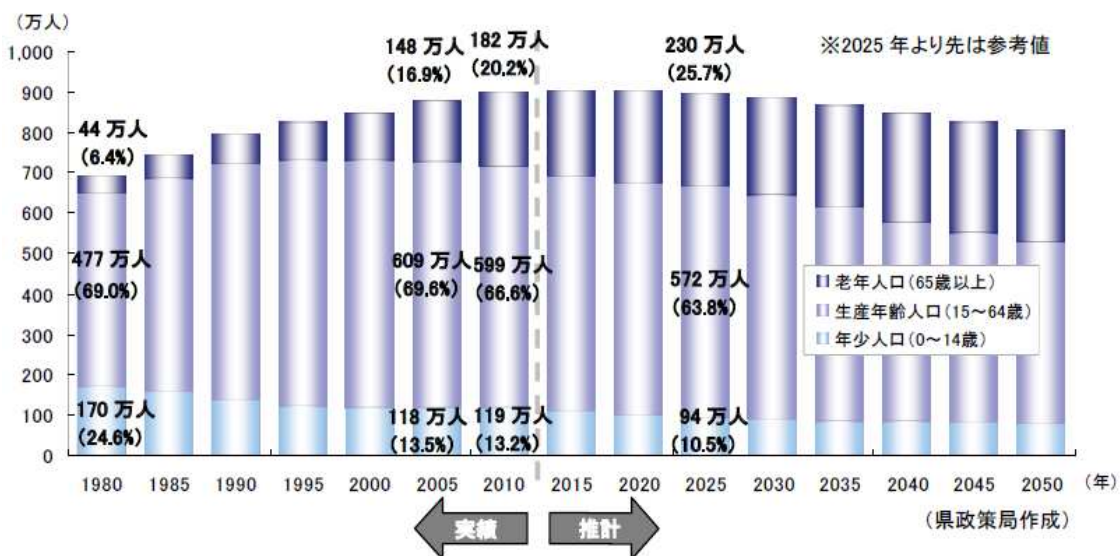
しかし、全国水準及び人口が安定的に維持される合計特殊出生率の水準（標準的には2.1前後）を大幅に下回っています。また、人口に占める年少人口の割合も低下し、県の人口推計では、今後も年少人口が減少することが予測されています。

(2) 高齢化の進展

本県の高齢化率（65歳以上人口の占める割合）は、平成17年には16.9%でしたが、平成22年には20.2%に上昇しており、県の人口推計では平成37年には26%程度に達すると見込まれています。

また、団塊の世代をはじめ、高度成長期に本県に転入してきた世代の高齢化が進展するため、現時点では全国に比べて本県の高齢化率は低いものの、今後、全国を上回るスピードで超高齢社会へ移行することが予測されています。

年齢3区分別人口（県の人口推計）



※2010年までの実績値は国勢調査結果。

※年齢3区分別の割合は、年齢不詳を除いて算出している。

2 年齢（3区分別）人口

本県の平成24年1月1日現在の年齢（3区分）別人口の構成比は、年少人口は全国と同様13.1%、生産年齢人口は全国と比べて2.6ポイント上回る66.1%、老年人口は全国より2.7ポイント低い20.7%となっています。

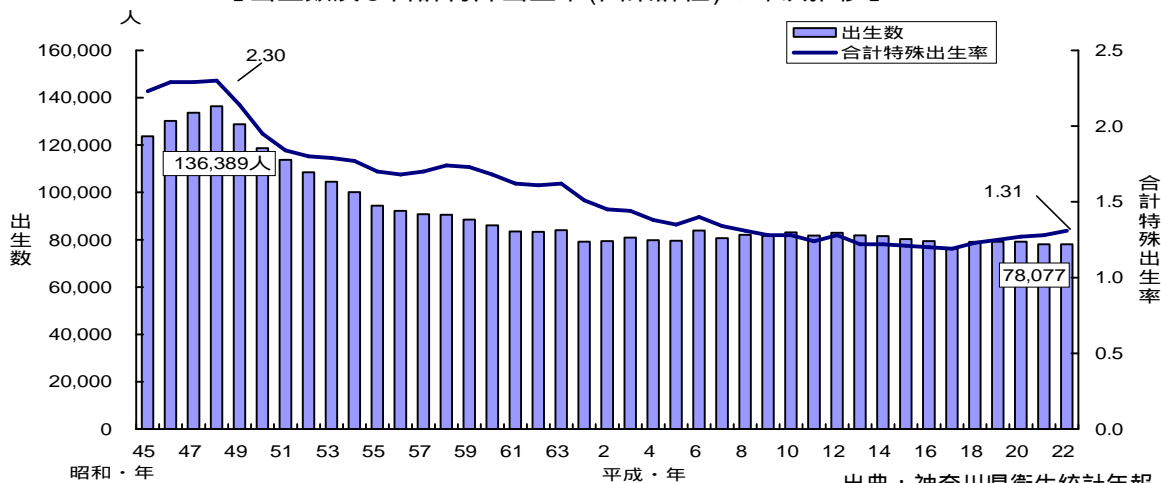
（単位：万人（%））

		総人数		年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳～)	
		人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
神奈川県	H24.1.1現在	906	(100.0)	118	(13.1)	596	(66.1)	187	(20.7)
全 国	H24.1.1現在	12,766	(100.0)	1,667	(13.1)	8,107	(63.5)	2,992	(23.4)

出典：神奈川県年齢別人口統計調査結果

出生及び死亡の年次推移

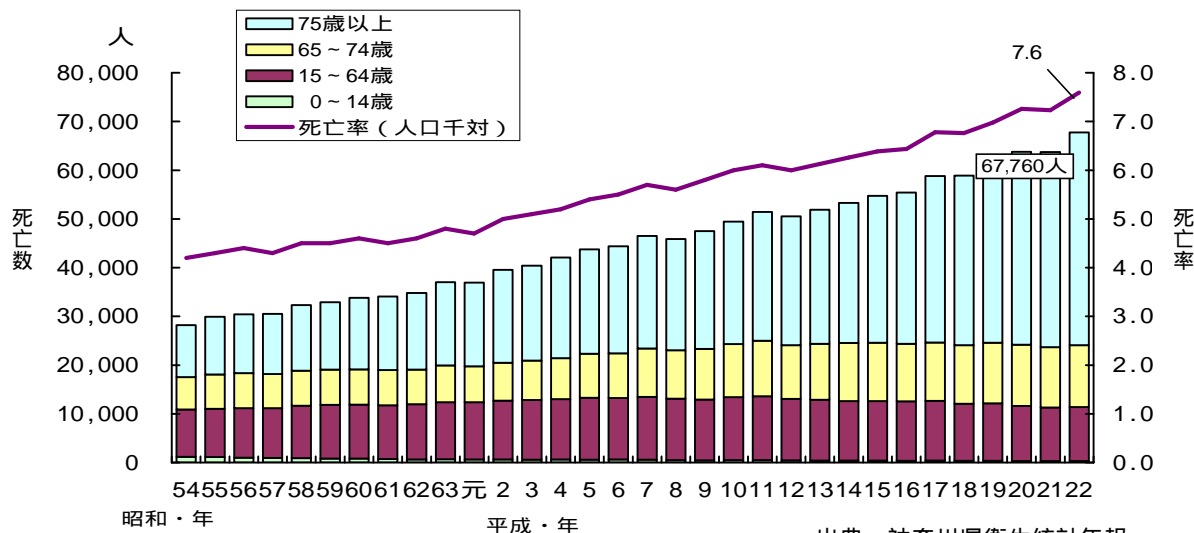
【出生数及び合計特殊出生率(国集計値)の年次推移】



出典：神奈川県衛生統計年報

資料：合計特殊出生率については、次の資料を使用した。
厚生省人口問題研究所「都道府県別人口の出生力に関する主要指標」（昭和45年～昭和60年）
厚生省「出生に関する統計（人口動態統計特殊報告）」（昭和60年～平成2年）
厚生労働省「人口動態統計」（平成2年～）

【死亡数及び死亡率の年次推移】



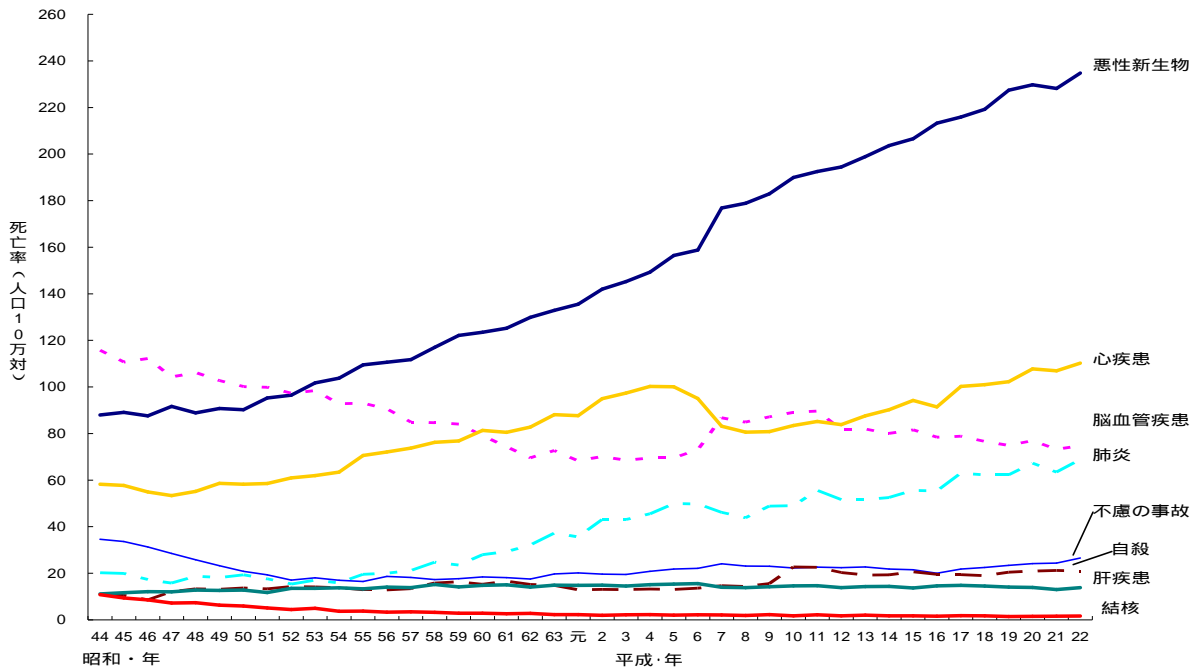
出典：神奈川県衛生統計年報

第2節 生活習慣病等の状況

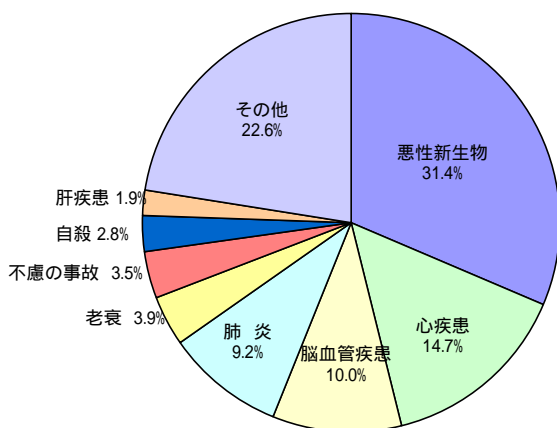
本県における主な死因別に見た死亡率の年次推移をみると、悪性新生物や心疾患などのいわゆる生活習慣病に起因する疾病が増加し、その構造が大きく変化しています。

主な死因別死亡数の割合をみると、悪性新生物、心疾患及び脳血管疾患の3大疾病が全体の約6割を占めており、全死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡している状況です。

主な死因別に見た死亡率の年次推移



主な死因別死亡数の割合（平成22年）



出典：神奈川県衛生統計年報

疾病分類別受療率(人口10万対)

傷病分類	調査年	神奈川県	全国
悪性新生物	H23	202	238
	H20	214	233
	H17	178	223
虚血性心疾患	H23	42	62
	H20	57	68
	H17	54	74
脳血管疾患	H23	152	226
	H20	170	250
	H17	154	279
糖尿病	H23	166	185
	H20	128	168
	H17	108	182
精神疾患	H23	338	401
	H20	262	418
	H17	380	431

出典：厚生労働省統計「患者調査」

精神疾患は「精神及び行動の障害」に分類されている患者数を掲載（てんかん及びアルツハイマー病は含まず、精神遅滞は含まれる）。東日本大震災の影響により平成23年度の全国の値には宮城県の一部地域及び福島県の数値は含まれていない。

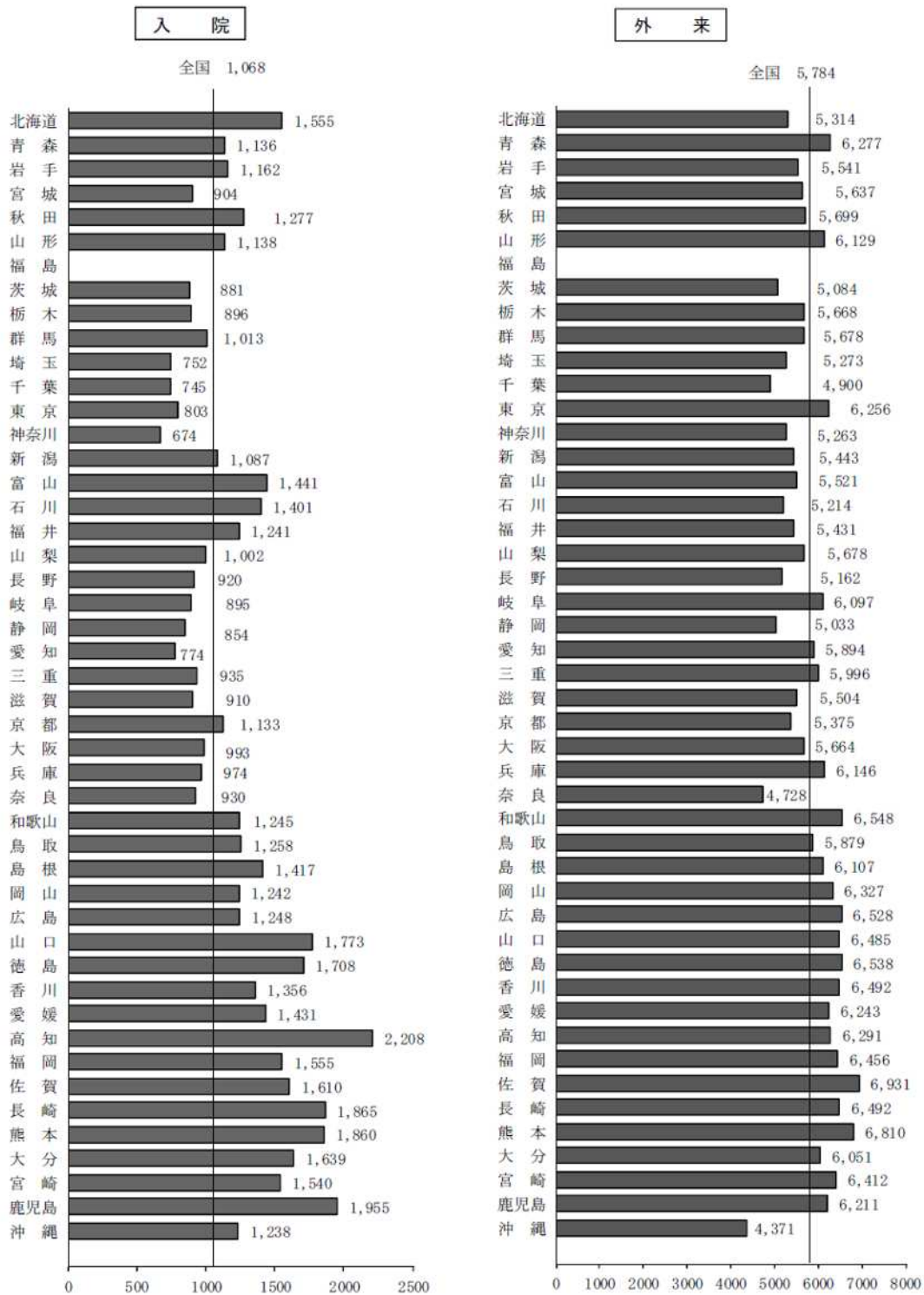
第3節 受療状況

1 受療率

県民の全疾病の受療率（患者調査の調査日に医療施設で診療を受けた患者数を人口10万人あたりで除した率）は、入院では本県は674で最も低くなっています。また、外来では本県は5,263で、全国で8番目に低くなっています。

都道府県（患者住所地）別にみた受療率（人口10万対）

平成23年10月



注：1）都道府県別受療率は、患者の住所地別に算出したものである。
 2）宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

出典：厚生労働省「患者調査」

2 5 疾病の患者数

がん（悪性新生物）、脳卒中（脳血管疾患）、心筋梗塞（虚血性心疾患）、糖尿病及び精神疾患の5つの疾病について、平成23年の患者数を見ると本県においても全国と同様に精神疾患の患者数が最も多くなっています。

患者数の推移は、全国、本県とも精神疾患、糖尿病、がんで増加傾向にあり、心筋梗塞では減少傾向にあります。脳卒中は全国では減少傾向ですが、本県では横ばいとなっています。

5 疾病患者数の年次推移

全国(千人)

疾病	年	平成8年	平成11年	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年
がん（悪性新生物）		1,367	1,274	1,283	1,424	1,520	1,524
脳卒中（脳血管疾患）		1,729	1,476	1,374	1,367	1,339	1,239
心筋梗塞（虚血性心疾患）		1,190	1,067	911	863	808	757
糖尿病		2,175	2,115	2,284	2,469	2,371	2,697
精神疾患		2,181	2,041	2,584	3,038	3,233	2,976

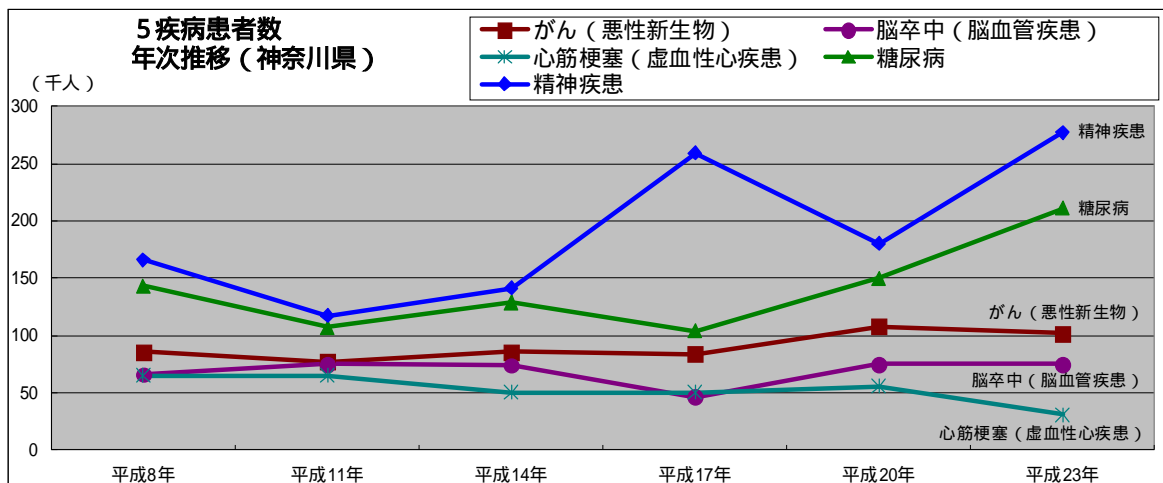
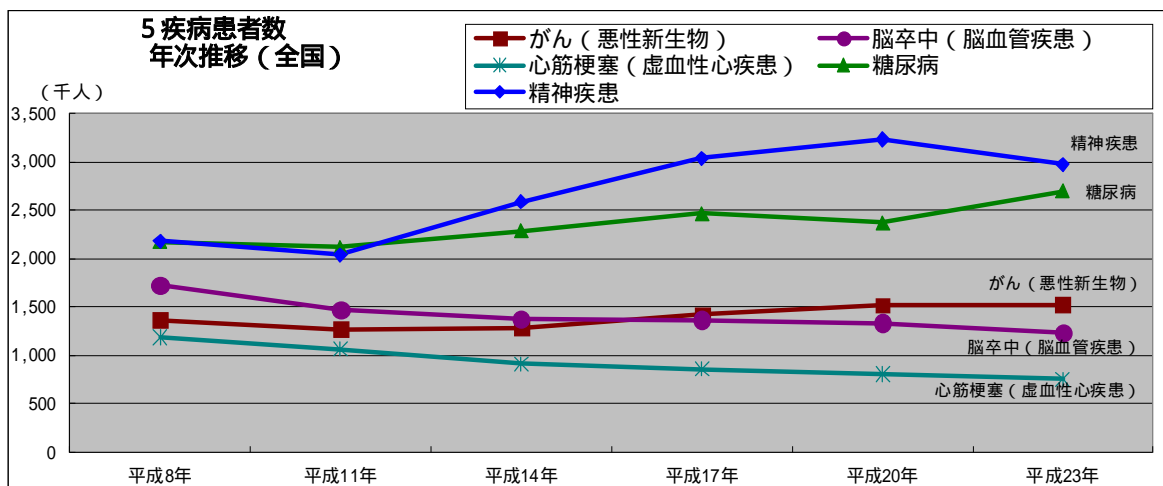
(患者調査)

神奈川県(千人)

疾病	年	平成8年	平成11年	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年
がん（悪性新生物）		86	77	86	84	108	102
脳卒中（脳血管疾患）		66	75	74	46	75	75
心筋梗塞（虚血性心疾患）		65	65	50	50	56	31
糖尿病		143	107	129	104	150	211
精神疾患		166	117	141	259	180	277

(患者調査)

患者調査の疾病分類では、脳卒中は脳血管疾患、急性心筋梗塞は虚血性心疾患に分類される。
虚血性心疾患には心筋梗塞と狭心症が含まれるため、表中の心筋梗塞の患者数には狭心症の患者も含まれる。



第4節 医療施設・医療従事者の状況

1 病院・診療所数

医療施設数を人口10万人あたりで比較すると、歯科診療所以外はいずれも全国の数値より低くなっています。

	施設数					人口10万対(H23)	
	H19	H20	H21	H22	H23	神奈川県	全国
病院	348	348	347	343	344	3.8	6.7
うち精神	45	46	47	47	47	0.5	0.8
一般診療所	6,320	6,277	6,372	6,407	6,424	70.9	77.9
有床診療所	432	363	352	332	296	3.3	7.8
歯科診療所	4,777	4,793	4,842	4,868	4,862	53.7	53.3

出典：厚生労働省統計「医療施設調査」

2 病院の病床数

病院の病床数を人口10万人あたりで比較すると、いずれも全国の数値より低くなっています。

	病院の病床数					人口10万対(H23)	
	H19	H20	H21	H22	H23	神奈川県	全国
一般病床	46,858	47,033	46,757	46,568	46,495	513.3	703.7
療養病床	12,642	12,712	12,951	12,962	13,185	145.6	258.3
精神病床	14,140	14,053	13,964	13,786	13,914	153.6	269.2
感染症病床	74	74	74	74	74	0.8	1.4
結核病床	350	334	184	184	166	1.8	6.0
総数	74,064	74,206	73,930	73,574	73,834	815.1	1238.7

出典：厚生労働省統計「医療施設調査」

3 病院の病床利用率

病床別の病床利用率は、一般病床、療養病床及び精神病床で全国の数値より低くなっています。

	病床利用率(%)					
	H19	H20	H21	H22	H23	全国(H23)
一般病床	75.3	74.8	74.3	75.7	75.6	76.2
療養病床	90.6	91.5	92.0	91.7	91.0	91.2
精神病床	87.7	87.2	88.0	88.6	88.1	89.1
感染症病床	11.4	10.6	11.3	8.9	8.8	2.5
結核病床	40.0	38.5	63.3	59.5	62.6	36.6
総数	80.0	79.8	79.8	80.9	80.6	81.9

出典：厚生労働省統計「病院報告」

4 病院の平均在院日数

病床別の平均在院日数は、療養病床以外は全国の数値より短くなっています。

	平均在院日数(日)					
	H19	H20	H21	H22	H23	全国(H23)
一般病床	16.6	16.3	15.8	15.5	15.3	17.9
療養病床	226.2	227.2	227.0	219.7	212.2	175.1
精神病床	256.8	251.0	248.8	240.6	246.9	298.1
感染症病床	7.2	7.9	5.4	7.8	9.0	10.0
結核病床	54.5	60.6	63.3	62.6	65.1	71.0
総数	26.7	26.2	25.6	25.1	24.8	32.0

出典：厚生労働省統計「病院報告」

5 医師数

医師数は年々増加していますが、人口10万人あたりの医師数では全国の数値より低くなっています。

		医 師 数(人)				
		H14	H16	H18	H20	H22
神奈川県	実 数	14,503	15,209	15,743	16,792	17,676
	人口10万対	168.2	174.2	178.3	188.3	195.4
全 国		206.1	211.7	217.5	224.5	230.4

出典：厚生労働省統計「医師・歯科医師・薬剤師調査」

6 主な診療科別にみた医療施設に従事する医師数

人口10万人あたりの医師数は、産科を除いて全国の数値より低くなっています。

		総数	内科	呼吸器 内科	消化器 内科	循環器 内科	小児 科	精神 科	神経 内科	外科	整形 外科
神奈川県	実 数	16,997	3,258	281	737	638	1038	893	258	715	1,268
	人口10万対	187.8	36.0	3.1	8.1	7.1	11.5	9.9	2.9	7.9	14.0
全 国		219.0	48.3	3.9	9.5	8.5	12.4	11.1	3.2	13.0	15.6

		脳神経 外科	心臓 血管 外科	産婦 人科	産科	眼科	耳鼻 咽喉 科	皮膚 科	泌尿 器科	リハ ビリ テー ション 科	放射 線科	麻酔 科
神奈川県	実 数	387	160	658	41	809	581	565	384	120	318	504
	人口10万対	4.3	1.8	7.3	0.5	8.9	6.4	6.2	4.2	1.3	3.5	5.6
全 国		5.2	2.2	8.0	0.3	10.0	7.1	6.6	5.1	1.5	4.4	6.0

出典：厚生労働省統計「医師・歯科医師・薬剤師調査(平成22年)」

7 歯科医師数

歯科医師数は年々増加しています。

		歯 科 医 師 数(人)				
		H14	H16	H18	H20	H22
神奈川県	実 数	6,254	6,465	6,758	6,869	7,057
	人口10万対	72.5	74.0	76.5	77.0	78.0
全 国		72.9	74.6	76.1	77.9	79.3

出典：厚生労働省統計「医師・歯科医師・薬剤師調査」

8 薬剤師数

薬剤師数は年々増加しており、人口10万人あたりでも全国の数値を上回っています。

		薬 剤 師 数(人)				
		H14	H16	H18	H20	H22
神奈川県	実 数	14,930	15,672	16,507	17,650	19,610
	人口10万対	173.1	179.5	186.9	197.9	216.7
全 国		180.3	189.0	197.6	209.7	215.9

出典：厚生労働省統計「医師・歯科医師・薬剤師調査」